

国立大学法人金沢大学人事基本方針

金沢大学は、前身校からの長い歴史と伝統を受け継ぎ、大学憲章に定める「地域と世界に関かれた教育重視の研究大学」の理念のもと、教育、研究、社会貢献及び大学経営を支える優秀な人材の獲得並びに育成を図ることを目的として、ここに人事基本方針を定める。

1. 人事の基本目標

本学は持続的な発展に向け、世界の現状・課題を再認識した上で未来社会を予測し、環日本海域に立地する世界卓越型大学を目指す国立大学として、「様々な価値観を持つ多様な人材が集まり、新たな価値が創造される場」となり、その中で能力を最大限に発揮し、変革を恐れず挑戦できる人材を育成する。

2. 教員の採用・配置・評価・育成

本学の強み・特色を生かし研究力の強化や教育の質の向上を図るため、本学の教員にふさわしい人格と識見を備え、研究、教育、社会的活動等において優れた能力や実績を持つ者を採用し、戦略的に配置する。採用後には、公平かつ多面的な評価を行い、教育研究活動の一層の充実を図るとともに、若手教員については、教育研究能力及び資質の向上に向けて、多様な支援を行い、育成する。

3. 職員の採用・育成

本学の理念及び目標の達成に向けて、専門性の高い人材や多様で優秀な職員を採用し、研修やOJT、人事交流により課題解決の実現に貢献できる人材を育成する。また、大学運営の一翼を担う事務職員の高度化、教育研究を支える高度専門職人材の育成により、教職協働を促進する。

4. 附属病院

附属病院は、質の高い最高水準の医療を提供するとともに、臨床医学発展と地域医療に貢献するため、基本的な知識や技術に加え専門性を兼ね備えた人材を採用し、将来の医療を担う人間性豊かな医療従事者を育成する。

5. 計画的採用・多様性の推進

中・長期的計画に基づいた教職員の適切な年齢構成を実現するとともに、性別・国籍・障害の有無等の観点でのダイバーシティ環境を醸成し、さらに外部経験を有する多様な人材を確保・育成する。

6. 経営人材の育成

本学が有する経営資源を最大限に活用し、戦略的な経営実現に向けて、外部人材の登用及び若手職員を含めた人材の発掘を行い、必要な能力や経験を身に付けさせる。

以上